

救急部門研修カリキュラム

研修目標

1. 一般目標 (GIOs)

救急患者の初期治療を行うために必要な知識、技能および態度を習得する。

2. 行動目標 (SBOs)

1. バイタルサインの把握ができる
2. 救急患者の病歴を効率よく聴取できる。
3. 救急患者の緊急度・重症度を評価できる。
4. 緊急時に必要な基本的な検査を施行・評価できる。
5. 心肺蘇生術を施行できる。
6. 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる。
7. 災害時医療について理解している。
8. 専門医への適切なコンサルテーションができる。

研修方略

1. 研修スケジュール

3ヶ月の研修期間はまつもと医療センターの救急科で研修し、救急医療の現場で必要な技術、知識、態度を修得する。

また、3ヶ月の研修期間のうち、6週間を信州大学医学部附属病院救急救命センターへ出向して研修することも可能である。その場合は、残りの6週間をまつもと医療センター救急科で研修する。

その他、年間を通して月2～4回程度の内科系・外科系・小児科の救急外来当直を各科上級医とともに行う。

研修評価

研修評価は、研修修了時（～その1ヵ月以内）担当指導医が、EPOC-オンライン評価システムにて評価する。最終評価は、まつもと医療センター病院群臨床研修管理委員会での委員会規定に基づいて行う。

<指導体制>

渡辺 宣明 昭和56年卒

<資格等> 脳神経外科学会専門医
高気圧酸素治療専門医

松下明正 平成5年卒

<専門> 消化器外科 一般外科
<資格等> 日本外科学会専門医
日本がん治療認定機構認定医
日本消化器外科学会専門医
日本救急医学専門医
日本腹部救急医学会認定医